

参加要領

定員・費用

- ・定員: 各回定員 20名
- ・参加費(税抜き):

	経協会員	経協会員外
5回通し参加	70,000円	100,000円
スポット参加/回	20,000円	

*1日研修時の昼食代、eラーニング受講料含む

- *各回ごとの申込みが可能ですが、全回通しでの参加を推奨いたします。
- *各回定員となり次第、受付を終了いたします。申込多数の場合は、5回通し参加の方の受講を優先いたします。

対象

- ・職場リーダーまたは次期リーダー候補
- ・次世代の経営幹部候補・将来の経営者候補

お申込み

本会ウェブサイトよりお申込みください。

<https://www.nea.or.jp/sxhr2023/>

【申込締切】 全5回通し参加: 6月30日(金) 各回参加: 開催日の1週間前まで

- ※ お申し込み後、詳細の連絡をメールでお送りいたしますので、ご確認ください。
- ※ 通し参加のお申し込み状況によっては、各回若干名のみ募集または募集なしとなる場合がございます。



←こちらのQRコード
からアクセスできます



持続可能な経営人財開発プログラム (SX 実践人財育成プログラム)

プログラム概要

企業を取り巻く環境は、今までにないほど急速に、かつ大きく変化しています。VUCAな時代とも呼ばれている、将来の予測が困難な現在において、経営としての持続可能性を高めることが、企業の規模や業種を問わず求められており、その実現のためには、具体策をどのように描くかが課題となっています。

本研修プログラムは昨年度、『DX人財育成プログラム』という名称で開催してきました。しかしながら、経営の現場には、従業員確保・定着(エンゲージメント、健康経営)、社会貢献意識(SDGs/ESG経営)、デジタル対応(DX)、環境経営(GX・カーボンニュートラル)といった様々な要素が含まれることに加え、昨今“SX(サステイナブル・トランスフォーメーション)”という概念も出てきていることから、企業の持続可能な経営を担う人財の育成を目指しプログラム名称を変更しました。

これからの時代の経営を担う人財に必須となる能力・視点・意識を醸成すべく、本プログラムを実施いたします。

最新の経営課題へのアプローチから 持続可能な経営を実現する将来のリーダーを育成

日程

7月28日(金)
10:00～17:00
長野市「善光寺大勸進」

テーマ

コミュニケーション
DE&I

講師

(株) エー・トゥー・ゼット
小沼さつき氏
James Curtis 氏

内容

価値観の多様化が進む組織において求められるのは高度なコミュニケーション力。互いの違いを分かち合い、本音で語り合えるコミュニケーション力を身につけます。

学び

対話力

共感力

9月14日(木)
10:00～17:00
長野市「善光寺大勸進」

変容
マインドセット・DX

フィールド・フロー(株)
渋谷 健氏

デジタル化により複雑性が増大する社会で求められるのはデジタル知識とそれを活用できるスキルとマインド。認知発達システムのアプローチで複雑社会を突破する。

デジタルリテラシー

創造力

10月12日(木)
10:00～17:00
箕輪町

ESG経営
グリーン経営

(株) やまとわ
中村 博氏

森林の中を歩くフィールドワークを通じて自然の重要性を知り、森林と経営との結びつきをとらえ直すことで、持続可能な社会と環境経営のあり方を問い直します。

システム思考力

洞察力

11月13日(月)
10:00～17:00
長野市「ミールケア」

ウェルビーイング
エンゲージメント

(株) ミールケア
関 友樹氏

働き方改革・健康経営・エンゲージメント向上。すべての根本にあるのは、ウェルビーイングの実現。一人一人の気持ちによりそい、幸せを具現化するためのアプローチを食を題材に学んでいきます。

倫理観

内省力

12月8日(金)
10:00～17:00
長野市「長野朝日放送」

事業継続計画
BCP・レジリエンス

(株) ZOAS
浅野 竜一氏

災害発生後72時間の間に生き残るスキルを身につける画期的な避難訓練を体験。危機的な状況で企業が生き残るために求められる術を体で学びます。

危機管理力

判断力

*7月にオリエンテーション(オンライン)の開催を予定しております。

*事前に基礎的な知識を学んでいただくeラーニングを、講座毎に準備しております。

*各回とも、参加者同士の対話・交流の時間を重視しています。また、一部の回終了後に交流会(懇親会)の開催を予定しております。

*講師都合により一部内容が変更になる場合があります。

01 最新の経営課題へのアプローチによる実践を通し、持続可能な経営を担う人財として欠かせない能力・視点・意識を身につけることができます。

02 単なる講義形式のセミナーではない、講師・他参加者との対話や各講座でのワークショップを通して、自社だけでは得られない気づきを獲得するとともに、参加者同士の幅広いネットワークを構築できます。

03 先進企業の事例や専門家の豊富な知見の詰まった講座により、最新の情報を収集できることに加え、実務に活かせる新しい考え方・手法を学べます。